

チャンスを逃さず ドライバーに転職

幼い頃からの憧れ

運転が好きということ、小さな頃からバスやトラレーラなどを運転する父親を見て「格好良い仕事」と憧れを持っていたからだ。だが、男社会のイメージが強い運送業界で、女性がやっていけるのか不安だった。

そんな秋山さんは9月、生コンクリートの運搬をメインに建築資材や冷凍車による運搬などを行うアライアンス・コーポレーション（今村雄治社長、東京都大田区）に入社。

インターネットで、女性ドライバーの活躍やトラガールの話題を見て勇気をもらった秋山さんは、「今がチャンス」と運送会社のドライバー求人に応募。しかし、未経験ということ、なかなか採用してくれない会社は見つからなかった。そうして、訪れたアライアンス・コーポレーションの面接で、今村社長から「諦めなければ絶対に乗れるから」と言われ、即採用。今村社長は「チャレンジする気持ちが大事。社員も会社もチャレンジャーなので、素人であっても、やる気があれば受け入れる」としている。

秋山さんは「面接での社長の言葉が凄く嬉しかった」と、「会社の皆さんも優しく、誰にでも気軽に相談しやすい、職場環境にも満足している」という。

入社して1か月の研修を経て、10月の終わりから、2ト車で食品の配送を任されている。秋山さんは「運転技術もそうですが、ルートを覚えるのが大変」としながらも、「憧れだった仕事に就けて、やっとスターラインに立てた」と仕事を楽しくしている。

また、「お前では無理だ。あれは男の仕事だ」と、ドライバーの仕事を勧めなかった父親も、「やりたいことを一生懸命やったら良い」と応援してくれている。それに応えるように、秋山さんも「現在、2ト車に乗らせてもらっています。が、ミキサー車や大型車にも挑戦していきたい」と夢は広がる。

「私もチャレンジできるかも知れない」。学校を卒業して14年近く、化粧品会社の工場や美容師の見習い、事務などの仕事を転々としてきた秋山真由美さんは今年、憧れだったドライバーへの転職を決意した。



アライアンス・コーポレーション

秋山真由美さん

入社して1か月の研修を経て、10月の終わりから、2ト車で食品の配送を任されている。秋山さんは「運転技術もそうですが、ルートを覚えるのが大変」としながらも、「憧れだった仕事に就けて、やっとスターラインに立てた」と仕事を楽しくしている。

また、「お前では無理だ。あれは男の仕事だ」と、ドライバーの仕事を勧めなかった父親も、「やりたいことを一生懸命やったら良い」と応援してくれている。それに応えるように、秋山さんも「現在、2ト車に乗らせてもらっています。が、ミキサー車や大型車にも挑戦していきたい」と夢は広がる。